

今支館・分館では

『諸区綱引き大会』

— 諸分館 —

第30回諸区民綱引き大会が5月14日(土)午後7時から水明小学校体育館で開催されました。

区内6地区の皆さんと小学校1年生から6年生・PTA育成部・公民館役員など総勢120名余りの行事となりました。

地区毎の参加者が異なる為、人数の少ない地区は合同チームとなつて、大人は4チームに分けました。

小学生は全員参加です。試合中のけが予防に、参加者全員でラジオ体操を行い、ルール説明の後競技に入りました。大人は総当たり戦で、男性女性各4名のチーム構成として、1試合3回勝負で先に2勝したチームが勝ちとし、小学生は試合毎に男の子対女の子・各学年の1組チーム対2組チーム等条件を変えて組分けしました。



公民館役員が進行役となり大人2試合後小学生1試合、その後も同様に組合せ表に沿って試合を行いました。

1戦30秒の短い時間ですが全力で綱を引くと大変疲れます。1回戦毎に陣地交代して試合を進めますが、区民の親睦が目的の為、試合中でもメンバー交代はOKとして、できるだけ多くの人に参加してもらいました。

初対面の方と同じチームとなり、初めは会話の少ない皆さんが、試合が進むにつれて各チームともまとまり選手や周りから掛け声もかかり、次第に勝敗を気にするようになってきました。

子どもたちの試合では、綱を引く子どもたちの周りではビデオやカメラを持ち応援する親御さんが多数見られました。

総当たり戦の上位2チームが優勝決定戦を行い、表彰式では、ステージに並べてある商品を優勝チームから好きな物を選んでもらいました。

小学生に飲物・お菓子を配り解散し、体育館を清掃して公民館へ戻りました。

諸区は綱引き大会のほか、市民祭りの神輿参加・夏祭り等いくつかの行事があります。

夏祭りの参加者は増えていますが、綱引き大会は年配の方の参加が無く応援に回る為人数が減少しています。今後とも区民の皆さまが参加しやすいように区・公民館の役員で連携をとり今後も継続します。

諸分館長 萩原 洋二郎
主事 小池 久志

『40年続く交流の場』

— 上ノ平分館 —

5月の連休が終わってまもなく、上ノ平神社のある堂山にボンボリが灯り赤いヤマツ



ツジの花が幻想的に浮かび上がります。ムラの中から神社に続く山道はヤマツツジのトンネル。ボンボリに照らし出されたヤマツツジは、お馴染みの桜とは一味違ってそれは見事なものです。

堂山の登り口にある小さな広場は、かつては山浦村・久保村の両戸長役場のあったところです。この役場は元々地藏堂だったものです。ですから、この裏山を堂山と呼ぶのでしよう。

今から約100年前、当時の若者が堂山に元々咲いていたツツジをもつと見事なものにしようとしてツツジの苗木をわざわざ関東地方まで買いに行つて植えたもので、苗木を枯らさぬ様水を背負って苗木に水やりし、大事に育ててこまめにしたものや伝えられています。

こんな見事なツツジをみんなが楽しもうと40年前に当時の区民が様々なアイデアを持ち寄つて始めたのが堂山のつじ祭りです。

この小さな広場から神社までボンボリが点灯して1週間、最後の夜は大勢の区民が集まり大賑わいとなります。

おでんや焼き鳥・綿アメやたこ焼きなどは全て区民が用意したものです。

食べては飲んで、そして花を愛でて一夜を楽しみます。子どもたちはお友達を誘ってきますので保護者もついてきて、それは賑やか。

「小さなムラの大きなお祭り」それが上ノ平で続けられてきた堂山のつじ祭りです。だんだんと人が少なくなり運営も大変になってきましたが、みんなが知恵を出し合いこれからも続いてほしい祭りです。

上ノ平分館長 掛川 剛

